

いつまでも私が 私らしく生き続ける

～ 認知症になっても終わりじゃない～

本人の視点から



おれんじドア代表(仙台)
丹野 智文 氏
これから
認知症になる人へ
伝えたいこと

専門職の視点から

大起エンゼルヘルプ 取締役
(介護福祉士)

和田 行男 氏

あらためて考える
認知症ケア



プログラム

- 1 丹野 智文 氏
「これから認知症になる人へ伝えたいこと」
- 2 和田 行男 氏
「あらためて考える認知症ケア」
- 3 **gocchamaze** 活動紹介
- 4 丹野氏・和田氏×**gocchamaze** メンバー
コラボ対談

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。

gocchamaze (ごっちゃまぜ)

オープンから
1周年を迎えた
gocchamaze。
誕生から現在までの
歩みをご紹介します。



gocchamaze メンバーの皆さん

※登壇者プロフィールや、**gocchamaze**の詳細は裏面をご覧ください。
※当日は手話通訳者を配置予定です。
ご希望の方は、お申込み時にお伝えください。

どなたでもご参加
いただけます



日
時

10月16日(金)

午後1時30分～4時 (開場:午後1時)

会場

品川区役所 第三庁舎
6階 講堂 (品川区広町2-1-36)

問合せ

品川区 高齢者地域支援課 認知症施策推進係
☎03-5742-6802 FAX:03-5742-6882

定 員

120人(事前申込制・先着)

参加費

無 料

申込み

電話:03-5742-6042

または右記二次元コードより電子申請にてお申込みください

【電子申請URL】
<https://apply.e-tumo.jp/city-shinagawa-u/offer/offerList/detail?tempSeq=4796>



健康ポイントの
詳細はこちらを
チェック→



しながわ健康ポイント対象

講演会を最後までご聴取いただくと健康ポイントを付与いたします

おれんじドア代表(仙台) 丹野 智文 氏



ネットトヨタ仙台に勤務していた39歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。勤務を続けながら、不安を持つご本人のためのもの忘れ総合窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務め、自らの経験を広める活動をしている。2020年、認知症本人による「希望大使」に就任。

おれんじドア ーご本人のためのもの忘れ総合相談窓口ー

おれんじドアは、仙台で認知症の当事者が中心となって運営する「もの忘れの総合相談窓口」。認知症の本人と家族がそれぞれ別のグループに分かれ、気持ちや不安を自由に語り合える場として開かれている。



【おれんじドア】HP

大起エンゼルヘルプ 取締役 (介護福祉士) 和田 行男 氏

1955年、高知県生まれ。日本国有鉄道(現:JRグループ)職員として車両修繕に従事したのち、1987年に介護業界に転身。特別養護老人ホーム勤務などを経て、1999年に東京都初の認知症高齢者グループホーム「こもれび」の施設長に就任。2003年から株式会社大起エンゼルヘルプで、デイサービスやグループホーム、小規模多機能ホームなどを統括。認知症ケアについて、従来にないアプローチを開拓し続け、研修会、講演会、学校授業、テレビ出演、雑誌・新聞への投稿や連載、著名人との対談、YouTubeなどへのメディアを通じて、認知症や介護関連のメッセージを送り続けている。



gocchamaze(ごっちゃまぜ)は、認知症と診断された本人・家族同士が日常的に過ごせる居場所であり、出会い・相談・就労の機能を持つカフェ。「認知症と診断されて、人と出会う場所や、日常的な居場所・就労する場所がない」という思いから令和7年8月に誕生した。

◆営業日:不定期(週4日程度)

※詳しくはHP参照

◆場 所:品川区西大井2-23-1

ハートフル・ケア・サービスビル1階



【gocchamaze】HP

